

お年寄りが主役の街づくり→誰もが主役の街づくり

保健師・介護支援専門員 佐々木奈々子

小泉 圭司先生の取り組みは、非常に興味がある分野なのに、今まで存じ上げませんでした。ちょっと悔しい思いをしました。表題に「お年寄りが主役の」とありますが、小泉先生の取り組みは、お年寄りだけでなく、子育て世代にも及んでいました。

誰もが輝ける場の提供をしておられるのだと思います。

★きっとトップセールスマン★

パソコン越しの、小泉先生の第一印象は、笑顔が素敵で誰にでも愛されそうな雰囲気のある方。以前、販売のお仕事をされていたと聞き、きっとトップセールスマンだっただろうな、と想像をしました。

販売店の椅子に長時間腰をかけていた高齢者の女性が気になり話しかけるなど、お客様の望んでいることをさりげなく聞き出す力があつたのだと思います。

まだまだ社会に活躍の場のある高齢者が、役割を見つけられずに閉じこもるという現象は、小泉先生のいらっしゃる幸手市だけでなく、どこでも見られます。自分の役割を見つけられた方は、活動の範囲をどんどん広げていきます。あちらのセミナーにも、こちらの講座にも同じ方の顔があり、学びを深め友を得て、ますます活躍します。

あと一歩踏み出せない方も多く、どうしたら背中を押すことができるのかと、私自身も悩んだことがありました。結局具体的な解決策は見つからなかったのですが、出てきてもらいたい方にはあきらめずに声をかけ続けること、時には自宅に訪問をして促すこと、既に様々な活動をされている方のお友達を誘ってもらうことなど試みました。

★押し付けない介護予防／たくさんの選択肢★

小泉先生の仰っていた言葉で印象的だったのは「押し付けない介護予防」という言葉です。人にあれこれと指示をされると、誰でもやる気をなくしてしまうものです。自分の興味のあること、楽しんでできることは長続きします。小泉先生は、選択肢をたくさん提供しているので、参加している方の満足度はきっと高いと感じました。

★喧嘩をせずに、諦めずに★

最後の質問コーナーも非常に充実していました。行政との付き合い方など参考になりました。私も行政からの委託事業を担当しているので、行政との付き合いはきっても切り離せません。小泉先生の前に立ちはだかった壁「市民活動には協力しない」「前例がないからダメ」、私も過去のトラウマが蘇ってくるようでした。ですが、行政を頼り過ぎずに、仲間と活動を続けていると、後から行政がついてくることがありますね。けんかをせずに、あきらめずに、行政に声を届けること。この姿勢を、私も持っていきたいと思いました。